



LIBRARY NEWS

相模原中等教育学校図書委員会広報班 2026年度 第1号

今回のテーマは「青春」です。



講談社

「死んだ山田と教室」

著者 金子 玲介 講談社

二学期初日。二年E組の教室のスピーカーから聞こえてきたのは、夏休みに死んだはずのクラスの人気者・山田の声だった。彼との会話を通して成長していくクラスメイトたちと、スピーカーの中に囚われ続ける山田。男子校のノリ全開の、馬鹿馬鹿しくてちょっぴり切ない青春譚。

「告白予行練習大嫌いなはずだった」

著者 香坂 茉里 KADOKAWA

幼馴染の雛に片思いしている虎太郎、二人の想いが書かれている本です。二人の視点から書かれているため、どちらの気持ちも楽しむことができます。近くなったり、遠くなったりする二人の感情がとても面白いのでぜひ読んでみてください。





「青春サプリ。いつだってそこに仲間がいる」

著者 日比野恭三・田中タ子・青木美帆 ポプラ社

この本には、実際にあった5つの部活のストーリーが書かれています。私は「人生に無駄なことなんてない」という、チアリーダー部のお話が好きです。この話から、「諦めない心」や「人は変わることができること」を学びました。みなさんも自分が好きなストーリーを探して、部活や習い事に活かしてみてもいいのではないでしょうか。

「夜のピクニック」

著者 恩田 陸 新潮社

高校最後の伝統行事「歩行祭」で、夜通し80キロを歩き続ける生徒たち。特別な一夜だからこそ、普段は言えない本音や、友人との微妙な距離感がリアルに描かれます。明日からの学校生活が少し愛おしくなる、青春小説の金字塔です。



「トリプルエース」

著者 汐見舜一 KADOKAWA

親友をなくした東風。春休みの最終日に小学校の卒業アルバムを見かえすと覚えのない親友からの寄せ書きが……。メッセージを信じて疑わない東風が、失われた親友の夢を描いていきます。友情物を読みたい人におすすめです。